

平成 23 年 8 月 10 日
ムーンライトキャピタル株式会社

【ご参考資料】

ムーンライト・エイドスミニ・ファンド(愛称:スサノオ百)

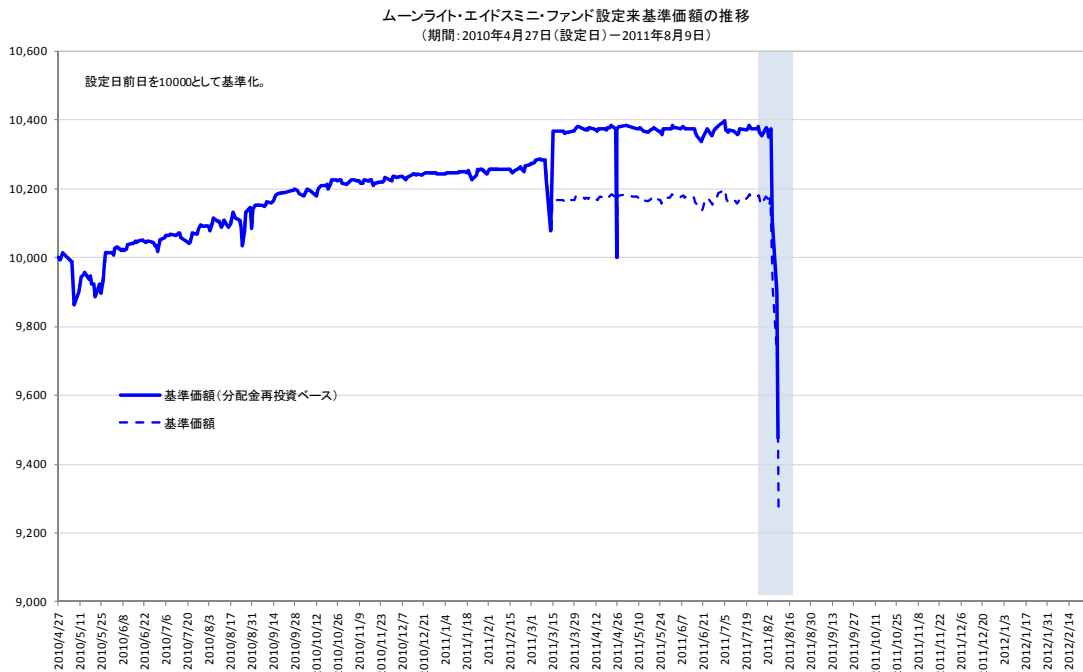
2011 年 8 月 5 日から 9 日までの基準価額の下落について

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

最近の金融市場の混乱を背景として、世界的に株式市場は大幅に下落いたしました。日本の株式市場もその影響を大きく受け、日経平均株価指数も急激に下落いたしました。次に基準価額と直近の株式市場を取り巻く環境について、ご説明申し上げます。

当ファンドの基準価額の値動きについて

本年 8 月 5 日から 9 日 (3 営業日) にかけて、ムーンライト・エイドスミニ・ファンド (愛称:スサノオ百 (以下、当ファンド)) の基準価額は 10,375 円 (8 月 4 日) から 9,475 円 (騰落率は▲8.67% (分配金再投資ベース)) となりました。



(注) 基準価額(分配金再投資ベース)は、分配金を非課税で再投資したものと計算しています。従って、実際のファンドは課税条件によって受益者ごとに指数・収益率は異なります。換金時の費用・税金等は考慮しておりません。運用実績は過去のものであり、将来の投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。

当ファンドの実質的な主要投資対象の動きについて

- 8月第1週目に欧州ユーロ諸国の財政不安が高まり、欧州の各株式市場を始め、世界の株式市場の変動率（ボラティリティ）が急激に高まり、株式市場の大幅な下落が始まりました。ドイツの代表的な株価指数である DAX 指数は 8月1日の高値 7282.01 ポイントから、8月9日には安値 5502.63 ポイントとなり、7営業日間にその変動幅は 24%を超えました。



- 欧州の財政不安に加えて米国の景気後退への懸念の高まりから株式市場の急落となり、さらに米格付け会社スタンダード・アンド・プアーズ（S&P）が米国の長期格付けを最上位の AAA から1段階下の AA+へ引き下げたこともあり、投資家の間で悲観的な見方が強まりました。8月1日から9日までの MSCI 世界指数は約 10%の下落となりました。また、シカゴの VIX 指数（恐怖指数）もリーマン・ショック以来の大幅上昇となりました。





- 東京の株式市場も世界的な株価急落の余波を受け、リーマン・ショック以来の急激なボラティリティの上昇となり、日経平均株価は大きく下落しました。このボラティリティ急上昇の影響で、当ファンドの複合戦略の一つであるボラティティ戦略は、ヘッジによるロスカットの損失が膨らみ、大幅な基準価額の下落となりました。



今後の市場動向と運用方針について

- 株式マーケットは、まだ、VIX 指数の水準が以前として高く、しばらくの間は変動が大きい可能性があります。しかし、ボラティリティ・レベルがピークアウトしてくる局面では、当ファンドのストラテジーにとって、最も収益機会が増加する局面となるため、今後の基準価額の回復に鋭意と努めて参ります。

以上

ファンドの特色

- わが国の株式市場にかかわらず、プラスの絶対収益を目指すことにより信託財産の中長期的な安定的成長を図ることを目標として運用を行います。
- 主として「ムーンライト・エイドス・マザーファンド」受益証券への投資を通じて、わが国の金融商品取引所に上場している株式・株価指数先物取引・株価指数オプション取引、ならびに公社債等を主要投資対象とします。

投資リスク

- マザーファンド受益証券を通じて投資対象とする金融派生商品(デリバティブ)固有の要因や投資方針固有の事由により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- 公社債等を投資対象としますので、金利変動等による組入債券の価格下落や、組入債券の発行体の倒産や財務状況の悪化等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元本は保証されているものでなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割込むことがあります。

≪基準価額の変動要因≫としては、①株価変動リスク ②金利変動リスク ③信用リスク ④流動性リスクがあります。

≪その他の留意点≫ ・ファンドに生じた利益および損失は、すべて受益者に帰属します。

- ・市場の急変時等には、前述の「投資方針」にしたがった運用ができない場合もあります。
- ・コンピューター関係の不慮の出来事に起因する市場リスクやシステム上のリスクが生じる可能性があります。
- ・ファンドの分配金は、前述の「分配方針」に基づいて委託者が決定しますが、委託者の判断により分配を行わない場合もあります。
- ・ファンドはファミリーファンド方式で運用します。そのため、ファンドが投資対象とするマザーファンドを投資対象とする他のペーパーファンドに追加設定・解約等に伴う資金変動等があり、その結果、当該マザーファンドにおいて売買等が生じた場合などには、ファンドの基準価額に影響を及ぼす場合があります。

※上記リスクについて詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)の「投資リスク」をご覧ください。

【お申込みメモ】

- 信託期間 無期限(平成22年4月27日設定)
- 決算および分配 年1回の決算時(原則3月15日。同日が休日の場合は翌営業日)に分配方針に基づき分配
- お買付価額 買付申込受付日の基準価額
- お買付単位 1口単位を最低単位として、販売会社が定めます。
- ご換金価額 換金申込受付日の基準価額
- ご換金単位 1口単位を最低単位として、販売会社が定めます。
- 税金関係 個人の場合、原則として分配時の普通分配金ならびに換金時および償還時の譲渡益に対して課税されます。なお、税法が改正された場合などには、内容が変更になる場合があります。

○申込手数料、お買付単位およびご換金単位については、販売会社にお問合せください。

○お客様の負担となる費用等につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。

【当ファンドに係る費用】

申込手数料	換金手数料/信託財産留保額
上限3.15%(税抜き3.0%)	かかりません。
信託報酬	
①基本報酬 ファンドの純資産総額に年1.5225%(税抜き年1.45%)の率を乗じて得た額が、お客様の保有期間に応じてかかります。	
②実績報酬 基準価額がハイ・ウォーター・マークを上回った場合、当該基準価額から当該ハイ・ウォーター・マークを控除して得た額に、21%(税抜き20%)の率を乗じて得た額が実績報酬として計上されます。実績報酬は1年毎に見直されます。	
その他の費用	
信託事務の処理に要する諸費用(監査報酬、目論見書等の印刷費用等。純資産総額に対して年0.105%(税抜き年0.10%)を上限とします。)、有価証券等の売買にかかる手数料等を当ファンドより間接的にご負担いただけます。(注)	
(注)その他の費用については、純資産総額や運用状況等により変動するものであり、事前に金額、上限額等を予め表示することができません。	

必ず、「投資信託説明書(交付目論見書)」をご覧ください。

当資料は、ファンドに関する参考情報の提供を目的としてムーンライトキャピタル株式会社が作成したご参考資料です。当資料は市場全般の推奨や証券市場等の動向の上昇または下落を示唆するものではありません。当資料は信頼できると考えられる情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確性、完全性を保証するものではありません。当資料中の記載事項は、全て当資料作成時以前のものであり、事前の連絡なしに変更されることがあります。なお、当資料中のいかなる内容も将来の運用成果または投資収益を示唆あるいは保証するものではありません。ファンドは、値動きのある証券等に投資しますので、基準価額は変動します。したがって、元本が保証されているものではありません。ファンドの運用による損益はすべて投資者の皆様へ帰属します。お申込みにあたっては、販売会社よりお渡しいたします投資信託説明書(交付目論見書)の内容を必ずご確認のうえ、ご自身でご判断ください。

ムーンライトキャピタル株式会社

金融商品取引業者登録番号:関東財務局長(金商)第466号

<加入協会>

社団法人 投資信託協会、社団法人 日本証券投資顧問業協会